

(様式2)

指定管理者制度導入施設の管理運営状況【対象年度:令和5年度】

※1～6: 所管課記入、7: 指定管理者記入、8～9: 指定管理者及び所管課記入、10: 指定管理者及び所管課記入(実施した場合)

所管部・課	建設部都市・まちづくり課(安曇野建設事務所)
指定管理者	一般財団法人 公園財団

1 施設名等

施設名	長野県烏川溪谷緑地	住所 電話 ホームページ	長野県安曇野市堀金烏川26 0263-73-0203 http://karasugawa.com/
-----	-----------	--------------------	---

2 施設の概要

設置年月	昭和・平成・令和14年4月	根拠条例等	長野県都市公園条例
設置目的	住民福祉の増進に寄与することを目的として、貴重な自然環境の保護・保全に配慮し、一般住民に自然とのふれあい、自然体験・学習、レクリエーション、文化活動などの場を提供するため。 この目的達成のため、行政と市民との協働による緑地の管理・活動を実施。		
施設内容	水辺エリア: 環境管理棟、トイレ、駐車場、園路、溪流園地、あづまや、展望台、ピオトープ 森林エリア: 森林学習棟、あづまや、森林トイレ、駐車場、園路 開園面積: 49.67ha		
利用料金	無料		
開所日	・管理事務所開所日: 4/1～12/28、1/4～3/31(閉所日は12/29～1/3) ・トイレ4箇所冬季閉鎖(12/1～3/31)		
開所時間	・管理事務所開所時間: 8時30分から17時15分まで		

3 現指定管理者前の管理運営状況

期間	管理形態	管理受託者又は指定管理者等
～平成21年度	直営	—
平成22年度～24年度	指定管理	(一財)公園財団
平成25年度～29年度	指定管理	(一財)公園財団
平成30年度～令和4年度	指定管理	(一財)公園財団
令和5年度～令和9年度	指定管理	(一財)公園財団

4 報告年度の指定管理者等

指定管理者	(一財)公園財団	指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日(5年間)
選定方法	公募(応募者数:1)		

5 指定管理料(決算ベース)

令和5年度(A)	令和4年度(B)	差(A)-(B)	※(A): 当該年度、(B): 前年度(以下同じ)
31,821 千円	32,405 千円	-584 千円	
	増減理由	作業用機材等備品購入が無かったことによる減額	

6 指定管理者が行う業務

<ul style="list-style-type: none">・本緑地(備品等を含む)の維持管理、利活用に関する業務及びこれに付帯する業務・「烏川溪谷緑地市民会議」の運営、活動等に関する業務及びこれに付帯する業務
--

(様式2)

7 利用実績等

(1) 利用実績【指標：利用者数・利用件数・稼働率】

(単位：人、件、%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和 5年度(A)	2,820	3,580	2,510	6,280	11,220	3,970	2,040	1,130	490	460	510	710	35,720
令和 4年度(B)	3,110	4,970	4,110	7,970	9,110	2,280	2,040	1,400	650	560	670	1,150	38,020
(A)/(B)	90.7	72.0	61.1	78.8	123.2	174.1	100.0	80.7	75.4	82.1	76.1	61.7	94.0
増減要因等	<p>第1四半期については、4月上旬は天候に恵まれ、前年度に比べ気温が高い日が多かったが、中下旬以降は気温が低い日が多く利用が伸びなかった。5月は新型コロナ対策の規制が緩和された最初のGWのため利用者増が見込まれたが、規制緩和により旅行先などが分散したこと、5/1・2が平日であったこと、GW最終の週末(5/6・7)の天候不良があったことが利用者減に繋がったと考えられる他、一ヶ月を通じて週末に天候に恵まれなかったことが多かった事、天候不良の予報が多かった事も一因と考えられる。6月については前年度の6月下旬の1週間に26℃～30℃の夏日が連続し河川利用などが多かったこと、また新型コロナ対策により遠出を控える傾向にあったことなどにより利用が集中したのに対し、今年度の同時期は最高でも26℃程度と比較的過ごしやすかったこと、また規制緩和に伴い外出先も分散傾向にあることから利用が減少したものと考えられる。(前年度比73.1%)</p> <p>第2四半期については、7月上旬は比較的涼しく過ごしやすかった気温の日が続き河川利用が伸びなかったことに加え、7/8・9の土日が天候不良のため利用が落ち込んだ。中旬頃より烏川渓谷緑地においても最高気温が25℃を超える日が多くなり、利用者が多くなって来たが上旬の影響もあり昨年と同程度の利用者数となった。しかし8月になると記録的な猛暑日が続く、川遊び等の避暑目的の利用者が多く来場した。前年度の8月後半は比較的気温が低い日が多く利用が激減したが、今年度は8月後半も猛暑日が続く利用者が減ることがなかった。また、9月になっても気温が高い日が下旬頃まで続いたため、河川の利用者が多く来園し、前年に比べ大幅な利用者増となった。(前年度比110.9%)</p> <p>第3四半期については、10月は前年度に比べ気温の高い日が多く人出はあったものの、土日祝の天気に恵まれず同程度となった。11月は前年度に比べ晴天日に恵まれたものの、団体利用の減少並びに中旬からの急激な気温低下により、利用数が減ったものと考えられる。また12月は上旬に低温の日が多く、週末に雨天となるが多かった事が減の要因と考えられる。(前年度比89.5%)</p> <p>第4四半期については、1月の中旬は比較的状態の良い雪が降り翌日は晴天になることが多く、写真撮影やソリ遊びの親子連れ等の利用が若干増えたが、下旬頃は降雨や雨交じりの雪が週末に重なったことにより利用が減少した。2月は1ヶ月を通し降雪日・雨天日となる日が多かった。また、気温の変化も極端で比較的暖かい日もあったが、そのような日は概ね曇天または雨天の日が多く利用には繋がらなかった。3月は前年度の同期に比べ気温が低い日が多く、また降雪日が多く、雨天・降雪日以外にも曇天の日が多く、利用減につながったものと思われる。(前年度比70.6%)</p>												

(2) 利用料金収入

(単位：千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和 年度(A)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和 年度(B)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(A)/(B)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
増減要因等													

(3) 利用料金見直しの状況(前年度と比べて)

見直しの有無	見直した場合はその内容
有・無	

(4) 開所日・時間の見直し等の状況(前年度と比べて)

開所日数	開所時間	見直しの有無	見直した場合はその内容
令和5年度(A)：360日	令和5年度(A)：8:30～17:15	有・無	2024年2月は閏年のため、1日増
令和4年度(B)：359日	令和4年度(B)：8:30～17:15		

(5) サービス向上のため実施した内容

<ul style="list-style-type: none"> ・ビジターセンター機能の強化として、レクチャールームの剥製等標本の追加制作及び本緑地の旬情報、標本解説、園内ガイドを実施した。 ・ガイドを求めない利用者のためにセルフガイドを作成した。(紅葉、冬芽、木の実、鳥の羽、樹皮等) ・レクチャールームへ小さな子供でも楽しみながら学べるように動物足跡スタンプラリーやクイズを設置 ・安曇野市や近隣の学校団体への環境学習対応を実施した。下見実施時に希望する学習内容及び実施方法を確認し、団体ごとのニーズに応じたきめ細やかな利用対応を行った。荒天時は雨天プログラムや時間短縮プログラム等の提供を行った。 ・ゴールデンウィークやお盆の繁忙期における円滑な駐車場利用を行うため、誘導員を配置し整理を行った。 ・日々の園内巡視の実施により、園内情報、自然情報の収集、把握に努め、レクチャールーム及び園内でのインタープリテーション実施や窓口案内等に活用した。 ・国営公園と連携し、ツキノワグマ出没情報等の共有を図った。 ・SNSやHPにてイベント開催予定告知、ツキノワグマ出没や伐採作業等に伴う通行規制などタイムリーな情報発信に務めた。

(様式2)

(6) その他実施した取組内容

<ul style="list-style-type: none">・利用状況に応じてトイレ清掃を高頻度で実施したほか、手洗い場に生花を飾るなど快適かつ清潔なトイレ環境維持に努めた。・日々の巡視時において、通行や利用の支障となる樹木、枝、枯損木等をその場で処置し、直ちに処理できないものは通行規制等を行い利用者の安全確保に努めた。・BBQ利用希望者には火気使用できない旨を案内するとともに、近隣のキャンプ場などを案内した。 また、火気使用者を確認した際は、利用者が不快とならに様に気を付けながら利用指導を行うとともに後始末の徹底を注意喚起し、環境保全、景観保全、野生動物対策に努めた。
--

(7) 利用者の主な声及びその対応状況

ご意見、要望	対応状況
<p>○利用者へのアンケート調査結果でのご意見・要望等</p> <ul style="list-style-type: none">・レクチャールームに剥製や資料がたくさんあってわかりやすい。・トイレが清潔で安心して使用できました。・スタッフがとても丁寧な案内をしてくれました。・少しゴミが落ちていたので、呼びかけなど行ってほしい。・熊除けの鈴付き棒があって安心して歩けました。・サルを見かけたので、飛びかかれはしないかとヒヤヒヤしました。・駐車場がちょっととめづらいです。	<ul style="list-style-type: none">・巡回時等にゴミを拾う他、声掛け等を行っている。・サルに関しては、近づきすぎないようにすること、視線を合わせない様にするなどを案内している。・クマに関しては目撃情報の提供注意喚起標示の掲示、状況によっては利用規制などを行っている。・ゴールデンウィークやお盆期間の繁忙期には誘導員を配置し、各駐車場への案内を行っている。
<p>○行事開催について以下の要望、ご意見があった</p> <ul style="list-style-type: none">・料金が無料なので、参加しやすい。・無料でこれだけ内容の濃い体験ができるのは素晴らしいです。・はじめてきたけど、とても楽しかったです。・とても面白かった。 ある程度必要な額はOK(終了後に気持ち程度の箱入れなど)・とてもわかりやすく教えていただいて、分からない鳥とかも教えていただいてよく分かりました。また参加したいです。・植物の写真の撮り方を教えてもらい勉強になった。無料がとても有難い。・先生の説明がとてもやさしく、分かりやすかったです。・同じ位の年の子と遊んでしまう時間もあったが、楽しく参加できた。 内容、時間配分等丁度良かった。・質問の時間が長くて良かったと思う。 職員が司会進行して整理する必要もあると思う。・初めての子供でも野鳥観察をどうやったら楽しめるのか、という方法も教えてほしい。	<ul style="list-style-type: none">・行事開催のご意見、要望を把握し、次年度以降の開催に向けて実施内容等を検討。
<p>○今後取り上げてほしい題材、内容について</p> <p>(植物等) キノコ、地衣類、コケ類、季節ごとの植物観察会、樹木など植物の観察会、外来植物、食べられる植物、冬芽の観察、冬虫夏草、</p> <p>(動物) カメムシ、野鳥の観察・生態、リス、モモンガ、安曇野の動物、夏鳥、観鳥、魚、昆虫採集、外来種、水生生物、動物のフィールドサイン、</p> <p>(その他) カメラの使い方、温暖化の影響、岩石・地質、自然全般、渓谷での釣りイベント、信州の地形の成り立ち、地質、森での生活体験、森ヨガ、絶滅危惧種、剥製、模型、北アルプスの成り立ち、北アルプスや常念山脈の地形</p>	<ul style="list-style-type: none">・多種多様な行事開催へのご意見、要望を頂戴し、次年度以降の開催に向けて実施内容等を検討。

8 管理運営状況(実施状況及びそれに対する評価を記入)

※項目は施設の状況に応じ加除修正してください。

項目	指定管理者	所管課	評価
施設の目的に沿った管理運営	<ul style="list-style-type: none"> ・烏川の貴重な自然を守り、動植物の保全・育成活動を推進するため、植物管理においては、緑地スタッフ1人1人のスキル向上に向け、経験豊富なスタッフと同行の上作業を実施した。除去すべき植物、保全利活用すべき植物、動物・昆虫等が利用する植物などきめ細やかに対応しながら維持管理を実施した。 ・園内利用においては、利用者への適切な案内、利用状況を踏まえた園内清掃の徹底により、安全で清潔な利用環境の維持に努めた。特に禁止行為となったBBQ利用を希望し来園されたお客様への適切な案内、近隣施設へのご案内及び、環境保全への取り組みについて丁寧に説明し理解を深める取り組みを行った。 ・地元安曇野市及び近隣の生坂村をはじめとする学校団体利用における環境学習では、河川、樹林等緑地の自然資源を最大限活用し、自然体験型環境教育の場としての利活用及び普及啓発に努め、質の高いプログラム提供を行った。 ・近隣宿泊施設との連携による取組として、学習目的の宿泊団体への環境学習プログラムの提供を行った。 ・市民協働・地域連携を推進するため、定期的に市民会議を開催、市民と協働したイベント開催による利用促進や情報収集を実施した他、緑地内での植物調査等実施のサポートも行った。また、地域連携・情報共有のため、安曇野市が主管する「国営・県営関係者会議」へ参加した。 ・安全、安心を第一に、心癒される緑地を提供するため、スタッフの挨拶をはじめ、利用者が気持ちよく過ごすことのできる環境づくりに努めた。巡視の際徹底した支障樹木、支障枝、枯損木の除去により利用者安全の確保を行った。 ・夏期川遊び利用における堰堤からの飛び込みに対し、安全確保に向けた飛び込み禁止看板設置及び利用者指導、注意喚起に努めた。 ・障がい者就労に関しては、長野県セルフセンター協議会に協力していただき5月、6月に合計27名で除草作業、清掃などの作業をお願いした。 ・長野県が推進する、クールシェアスポットへの登録により省エネルギー対策活動に参加し、夏季利用促進を行った。 ・建設事務所との連携によるツキノワグマ活動時期における利用者の安全確保、ツキノワグマ目撃情報、フィールドサイン確認状況により利用制限区域の設定など迅速な対応を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・協定書、仕様書及び年度計画書に基づき、施設の目的に沿った管理運営を適切に実施していた。 ・園内、特にトイレ清掃の徹底については利用者からの評判が大変良い。また、平成27年度からのバーベキュー禁止措置について、緑地利用者へ丁寧な案内を心掛け、適切に対処していた。 ・安曇野市内のほとんどの小学校から環境学習の依頼を受けるなど、地元教育関係者からの評判も良く、施設の有効利用に寄与していた。 ・近隣ホテル宿泊者への朝のウォーキングガイドを実施し、烏川渓谷緑地の魅力を発信した。 ・市民会議事務局として県と市民会議との調整を行った。また、令和5年度においては市民会議主催による烏川渓谷緑地開園20周年記念イベント実施し、市民会議事務局として企画運営を行った。 ・園内の安全確保に細かい配慮を行った。 ・障がい者雇用については園内清掃作業を依頼し、就労・活動の場を創出した。 ・クールシェアスポット登録により烏川渓谷緑地の森林・水辺の特性を生かした利用促進を行った。 ・ツキノワグマ対応策の最新情報を学ぶため、隣接する国営公園の講習会に参加するなど、利用者の安全・安心の確保に配慮して行動していた。 	A
平等な利用の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページや看板を通じて本緑地の利用方法やルールを正確に情報提供した。 ・イベント開催の際は受付時期を1ヶ月前とし、SNSやHPの閲覧者、プレスリリース及び公共施設等へのチラシの配置による申し込み者の平等性を確保した。 ・山菜・きのこ採取及び昆虫採集目的の利用者へ環境保全の取り組みについて丁寧に説明を行い、後から来園される利用者にも配慮した公園利用案内を行った。 ・平等利用の観点から、利用者の声を幅広く収集することを目的とした「モバイルご意見箱」を継続して実施した。 ・愛犬家の園内利用マナー向上の取り組みとしてマナーアップ呼びかけのポスター掲示、マナー袋配布並びにマナーボトル(水)の貸し出しを行うとともに、愛犬の無駄吠え、リード外しての川遊び禁止の注意喚起を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント開催の際は、利用者に対する平等な利用確保に努めていた。 ・園内巡視を行う際は、利用者に対し親切・丁寧な案内を心掛け、心地よく緑地内を利用できるよう配慮していた。 ・愛犬家の園内利用マナー向上の取り組みを積極的に行っていた。 	A

(様式2)

利用者サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・公式HPは随時更新を行い、園内の自然資源やイベント情報の告知及び旬情報提供に努めた。また、SNSを継続した。 ・イベント終了後、参加者アンケートを実施。利用者ニーズを把握し、管理運営へ反映するための判断材料とし、サービスの提供や改善に努めた。 ・利用満足度を図るため来園者アンケート調査を実施。利用者のご意見を収集し管理運営に反映させた。 ・イベント開催においては、緑地内の自然資源、環境資源を活用すべく企画内容を吟味し、参加者の満足度の高いイベントを実施した。参加者からの期待度の高いカタクリやオオルリ観察会の他、アブラムシ、ニホンザルなど生物の学習会、著名な講師を招いての植物観察会、歴史文化に関する学習会など幅広いニーズに対応したイベントを実施した。 ・イベント募集に際しては、松本市、安曇野市の市政記者クラブを活用。毎回プレスリリースによりパブリシティによる募集記事、開催記事掲載に努めた(新聞等掲載等39件)。また、近隣の図書館、公民館、宿泊施設、観光協会等へチラシを配布し、情報提供と参加促進に努めた。 ・当財団が共同体代表として維持管理を行う国営アルプスあづみの公園にてチラシを配布し情報提供と参加促進に努めた。 ・春夏の繁忙期には管理事務所スタッフ及び専門スタッフによる駐車場誘導を行ない円滑な利用サービスに努めた。 ・長野県が推進するSDGsプロジェクトや信州環境カレッジへのプログラム登録を行い、周知を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公式ホームページによる情報の発信、プレスリリースや安曇野市広報への掲載など利用者に向けての情報発信に努めていた。 ・緑地利用者及びイベント参加者のアンケートからニーズの把握に努め、業務改善等に反映させていた。 ・緑地の自然資源を活用した企画を多く取り入れ、幅広いニーズに対応したイベントを開催し、多くの参加者から好評を得ていた。今後も自然体験型環境教育の場として利用者、参加者から大いに期待されている。 また、令和5年度は、コロナウイルス感染症が5類へ移行となったが室内でのイベントではソーシャルディスタンスに配慮した定員数としたうえで、事前受付時指先消毒を行うなどコロナ対策を行いクラスター元とならないように心がけていた。 ・ゴールデンウィークや夏季の繁忙期については駐車場の誘導を専門業者に委託して対応するなど、円滑な利用が行えるよう対応した。 	A
自主事業	<ul style="list-style-type: none"> ・緑地利用者へ便益性及びサービスの向上を図るため自動販売機を継続して設置。 ・窓口にて記念品等の販売を実施。 ・20周年記念イベントにてクラフト教室並びに記念品の販売を実施した。 ・初心者を対象としたコケテラリウムづくり教室を開催 ・近隣ホテル宿泊者を対象に5月～8月までウォーキングツアーガイドを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・以前より要望があった自動販売機を継続して設置し、利用者のニーズに応えた。 ・県、市民会議と協議しながら、緑地の保護、保全を目的としたボランティア活動を実施し、園内で発生した間伐材等の売却益やワークショップ・ガイド等で得た収益を20周年記念イベント費用の一部に充てて開催する等の工夫が見られた。 	A
職員・管理体制	<ul style="list-style-type: none"> ・常勤職員：5名、臨時職員：2名、計7名 ・繁忙期には臨時的に誘導警備員を配置し、体制を強化した。 ・「普通救命講習」修了者や「サービス接遇検定」取得者を配置し、安全第一に丁寧な利用者サービスを実施できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・緑地の管理業務を行うために必要な知識と技術を持つ、経験豊富な職員が配置されていた。 ・繁忙期には臨時スタッフによる駐車場誘導を行なう等、的確な管理体制の確保に努めていた。 	A
収支状況	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理料収入31,730千円。支出31,821千円 指定管理収支においては、実施作業等への優先順位付により収支バランス良く効率的に管理運営ができた。 ・自主事業収入144.2千円。支出143.8千円 公園利用者へ便益性及びサービスの向上を図るため継続して自動販売機を設置。また、窓口での記念品販売に加え、20周年記念イベント時のクラフト教室参加料並びに記念品販売、及びコケテラリウム教室参加費により収入が伸びた。 ・自主事業収支においてはバランスよく効率的に活用できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた予算の中で、緑地利用者へのサービス低下に繋がらないよう配慮し、適切に管理運営が行われていた。 	B
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度までの状況を踏まえながら、維持管理(植物管理、施設管理)、利活用、市民会議活動に関する業務、環境学習プログラムの実施など、円滑に運営することができた。 ・公園の自然資源を活用したイベントや環境学習プログラムの実施を通じて、長野県の豊かな環境を啓発できた。 ・展示等に反映すべく写真や標本を収集・製作し、烏川渓谷緑地らしい野生生物をテーマとする展示解説に活用ができた。 ・利用者アンケートなどからお客様に好評価をいただいたように、限られた予算の中で、一定の水準を確保する指定管理業務が実施できた。 ・開園20周年記念イベント開催することにより、より多くの方々に烏川渓谷緑地を知っていただくことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケート・イベント参加者へのアンケート調査から「そこにある自然と触れ合う」ことができる場所として好評な評価が得られた。また、安曇野市内および近隣市町村からは環境学習の場として不可欠な存在として頼りにされており、他箇所からの環境学習の依頼も多い。引き続き良好な管理運営をしていただきたい。 ・指定管理者により提出された収支状況等資料から、優れた管理運営がなされていると判断できる。 	A

<評価区分> A:仕様書等の内容を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
 B:おおむね仕様書等の内容どおりの成果があり、適正な管理運営が行われている。
 C:仕様書等の内容を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要である。
 D:仕様書等の内容に対し、重大な不適切な事項が認められ改善を要する。

(様式2)

9 施設管理運営の課題

項目	指定管理者	所管課
施設の管理運営の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・管理事務所閉所時間帯(職員不在時間帯)のトイレ等利用に関する安全管理、保安対策 ・管理事務所閉所時間帯(職員不在時間帯)のたき火、バーベキューごみ片付け対策(長野県との協力により、利用方法の周知、マナーの向上が進んでいる。) ・公園内樹木の成長に伴う巨木化による、倒木・落枝の危険性の増大。(間伐の必要性が高まっている。) ・施設の経年劣化対策 ・直営作業方法・体制の安全対策基準の高度化への対応 ・災害発生時における利用者並びに職員の安全確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理事務所の閉所時間帯のトイレ利用案内等について、指定管理者とともに検討していきたい。 ・指定管理者と協力し、利用者にマナー向上の協力を呼び掛けたい。(利用方法が周知され、マナーの向上が見られ、ごみ等の放置は減っている。) ・指定管理者と協議をしながら、小規模修繕工事等により、緊急性の高い樹木を除去している。 ・施設台帳・長寿命化計画の共有を図り、優先順位に基づき劣化対策を行っていく。 ・工具機械化により、省力を図り安全性の向上と作業の効率化を進めたい。 ・災害時マニュアルの見直しについて指定管理者とともに検討していきたい。

10 第三者評価で指摘された事項の管理運営等への反映状況(第三者評価実施年度の翌年度以降に記載)

【実施年月日：令和 年 月 日】

第三者評価における指摘・意見等	管理運営等への反映状況	
	指定管理者	所管課